

授業科目名	社会科・公民科指導法Ⅱ	必修	開講年次	2	単位数	2
科目区分	教職に関する科目（教育課程及び指導法に関する科目）					
サブタイトル	社会科教育の理論と実践	担当者	小松 伸之			
講義概要	<p>【概要】</p> <p>中学校社会科教育について、理論と実践の両面から学ぶことをねらいとする。前半では、3分野それぞれの目標や内容を学習するとともに、実践例を分析することで理解を深める。後半では、小グループによる模擬授業づくりを行って授業の組み立て方を身につけるとともに、代表者による授業実践や参加者による授業分析を行うことで、社会科教師として求められる実践的なスキルを養う。</p> <p>【到達目標】</p> <p>○学習指導要領における中学校社会科教育の目標や内容について理解を深める。 ○学んだ内容をもとに学習指導案を作成し、模擬授業を実践することができる。</p>					
履修条件	社会科・公民科指導法Ⅰを履修済みの者。					
教科書・参考書	<p>【教科書】社会認識教育学会編『中学校社会科教育』学術図書出版社 『中学校学習指導要領解説 社会編』日本文教出版</p> <p>【参考書】適宜、教場で指示する。</p>					
授業回数	内容					
1	中学校の位置、中学校教師に求められる資質					
2	中学校社会科の特質、小・中・高の連続性					
3	地理的分野① 目標と内容構成					
4	地理的分野② 教材研究と授業方法					
5	地理的分野③ 授業実践と分析・検討					
6	歴史的分野① 目標と内容構成					
7	歴史的分野② 教材研究と授業方法					
8	歴史的分野③ 授業実践と分析・検討					
9	公民的分野① 目標と内容構成					
10	公民的分野② 教材研究と授業方法					
11	公民的分野③ 授業実践と分析・検討					
12	模擬授業準備、学習指導案作成					
13	模擬授業① 地理的分野					
14	模擬授業② 歴史的分野					
15	模擬授業③ 公民的分野					
評価方法	<p>課題・学習指導案(60%)、模擬授業(25%)、平常点(15%)</p> <p>※出席は評価の前提条件となる。また、受講者には授業への積極的な参加を求める。</p>					
評価基準	<p>授業内容についてよく理解し、適切に表現できた者には「A」を与える。内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。</p>					
その他	※ 高一種免公民は選択科目					